

KBS

ケイビーエス株式会社

台



7H

21

発行:ケイビーエス株式会社 社員一同
〒544 0033/ 大阪市生野区勝山北2-16-17/ 電話06-716-5665/ FAX06-711-2104/ E-mail:kbs@kbsjapan.com / NiftyID:LDD01703

編集長:高允男 / 副編集長:重村正美

編集:KBS制作部



Windows多言語印刷もOK!



Windows98が7月25日に発売された。周りがWindows、ういんどうずと騒がしい。私もこれではMacばかり触っていられないと、さっそくWindowsマシンを購入した。社内にはすでに4台ほどのWindowsマシンがあって、それなりに社員たちが仕事に使ってはいるが、やはり、私がWindowsのことがわからないと、どうも前へ進めない。

私の机の上に、すでに置かれているMacの横にWindowsマシンを置いたが、本やら何やらと狭いので、機種は液晶ディスプレイのバリュースターNXにした。(写真)今から7年ほど前、Macを導入して、毎日がMac、Macと明け暮れていたが、今は毎日がういん、ういんだ。DOSマシンのPC-98の時は、毎日98のマシンとにらめっこしていたが、その時は、今よりアプリケーションソフトの種類も少なく、機種も多くなかったので、パソコンの世界がたいへん把握できた。ところが、今のWindowsの世界、把握しきれない。ソフトも多いし、機種も多い。それでも、とにかく一般にどんなソフトを使って印刷物を作るのか、そして、それらはイメージセッターで出力可能なのかをテストする。

はっきり言ってWindowsはMacに比べて私にとってはややこしい。それでもMacと似通ったところがあるので、理解はまあ、するのだが、とまどうことが

しょっちゅうある。

だけど、このWindows、多言語ができる。

私が求めているのはこれ、この多言語なのだ。Macを選んだ時も、この多言語ができるからであった。

しかも、TrueTypeフォントでも高品質の印刷ができる。ということはPSフォントより、値段の安いフォントが利用できる。それから、アプリケーションがMacより豊富だ。しかも価格が安い。

うーむ、これは脅威だ。マシンも安い。アプリケーションも安い、フォントも豊富で安い。ウーン。うなりたくなる。

一般ユーザはほとんどが、Windowsマシンを使っている。それらのデータを高品質印刷ができるようにサービスしていくのが、これからのKBSなのだ。

アレアハングルは多言語ワープロだ。日本語とハングルを自由に混ぜて使える。次のバージョンは中国語も使えるようになる。まさしく、多言語ワープロなのだ。このアレアハングルのデータもKBSでは高品質印刷物にできるのだ。

うーむ、くやしい。くやしいけれど、Windows万歳!

(4、5ページはWindowsで制作しました。) 高仁鳳(Ko Inbong)



まず、炭火を起こし



肉の用意はたっぷり



さあ、焼こう



料理の準備をする黄さんとピンケーウさん

恒例の焼肉&花火大会

8月22日(土曜日)

去る8月22日(土)淀川河川敷において、KBS恒例の花火大会がおこなわれました。

お客さんにウロコの屋敷社長、ていきんぐの浜本社長と社員の方、以前KBSに勤めていた金福姫さん一家、タイ語の新家ピンケーウさん、その他、KBS社員の家族、友人といった賑やかなメンバーが揃いました。

天気にも恵まれ、涼しい風が吹く中での焼肉は大満足。

KBSの料理人稲木くんは、血が騒ぐのか、前回の歓迎会の鍋奉行に引き続き、火の番をずっと続けてました。(彼が面倒見た料理は♥さすが元プロ)

今回は、子供の参加が少なかったのですが、ピカチューこと福姫さん家のゆみちゃんが、元気いっぱい花を添えました。

あれだけの量の花火をするのもひさしぶりで、みんな子供にかえたようにたのしんでいました。(一部では線香花火選手権?がおこなわれていました。)

最後の締めは、スイカ割り。とっても甘くて美味しいスイカでした。

いつもの場所であるにも関わらず、道に迷ってしまったりと、どたばたハプニングの連続でしたが、お腹も、心も満足した一日でした。

最後になりましたが、いつも美味しい焼肉&サラダを用意して下さる専務、花火を差し入れて下さった伊勢木さん、そして、いたらない幹事の買い出しにおつき合い下さった皆様に心からお礼申し上げます。



料理の鉄人、稲木君におまかせ



さあー花火だ



ピカチュー



はーい、みんなそろって!



ウロコの屋敷社長とていきんぐの浜本社長も参加



今回の担当幹事役重村さん、新婚カップルだ。



幹事は大変です。

Mac部 高允樹

「幹事なんかやるモンちゃうわ」
7月24日の歓送迎会で何かに急ぎ立てられながら、そんなことを考えていました。

ケチの付きはじめは場所選びからすでに始まっていました。

最初に選んだ「時南房」は、人数的に無理がある。次に選んだ「串の坊」は、時間的に無理がある、とそれぞれもつともなご指摘を頂戴しまして、一度は予約しておきながら人数も時間も制限のない「和加奈」の方がよいと考え、キャンセルさせてもらったのです。

2軒目の「串の坊」に至っては予約していた前日でのキャンセルでしたので、コレは電話で「ああ、やめ。ほなまたね」ではアマリにも失礼かと考え、店まで足を運んでお断りの旨を伝えさせていただきました。

「あの、すいません。明日、18名で予約してるKBSですけど」

「ああ、KBSさんね!なんでしょうッ!?!」

新人の稲木君と先輩の重村さん



「……。やっぱりキャンセルしてほしいんですけど…」

「…。そうですか〜。いいッすよ、ハイ!またヨロシクお願いしますー!」

店員のニイちゃんの思いもよらない気っ風のいい返事が、却って心にグサツときたものでした。店の外に出て、残り物にありつこうとジツとしてる年食った猫と、ぼんやりと月を見上げていました。

ゲームの賞品購入も頭を悩ませました。

とりあえずテーマを「夏」として、「老若男女を問わず喜ばれるものを」と考え、抱き枕・おもしろTシャツ・麦藁帽子の3品に絞るのはスグでした。

ところが、思いのほか麦藁帽子を探し当てるのに苦労し、抱き枕のほうはなかなかコンパクトなものが見つからず、1等をほかのモノに代えようとも思いました。幅広くいろんなトコロを渡り歩いて、衝動買いのフリスビーを加えてなんとか全て買い揃えました。

あっちむいてホイのトーナメント表も拵え、準備は整いました。

ところが、いざ蓋を開けてみればタイミングの難しさに文字通りの閉口です。

飲み物の注文の遅れで躓いたのをきっかけに、社長や新人さん、山本純子さんの挨拶がテンポよくいかず、逆に「ココはこうするんや」と突っ込まれる始末でございました。

それから社員のみなさんから、新人さん、山本純子さんにひとことかけてまわるといのが常道なのでしょうが、割愛してしまいました。(本当にスママセン!)

あっちむいてホイをゲームに使った理由は、た

だ単にテレビで見て個人的にやりたくなったからです。

如何せん、思った以上に若手の有利さが目に付き、ウケもイマイチだったようでした。



新人の太田さん

ちなみに受賞者は……

- 1位・抱き枕 山本裕治(飛び入り参加)
- 2位・Tシャツ 重村正美(新婚さん)
- 3位・麦藁帽子 太田晶子(新人さん)
- 4位・フリスビー 高 允樹(ちゃっかり)

と相成りました。

賞品はいずれも非常に喜んでもらえました。それが唯一の収穫だったといえ、それまででございます。まあ初幹事の感想を言えば、冒頭の通り「幹事なんかやるモンちゃうわ」ですが、「ホトボリがさめたら、またやってみよか」とも思います。その折には、またよろしく願います。

太田さん、稲木さん。これからもよろしゅうに。重村さん、リボンさん。おめでとございます。山本純子さん。お疲れさまでした。



あっちむいてホイ

長女が生まれた。

翻訳部 李凡

あ~~~~、あついですね。もう、八月も終わりか。日が経つのははやいですからね。皆さん、いかがお過ごしですか。嬉しいこと一つ、ご報告いたします。五月二十八日、長女が生まれました。名前は朱音(アカネ)と付けました。よろしく願います。



寝ころびながらインターネット。

はんゆみ

6月のある日、すごく気に入ったデザインの携帯電話を発見、その日のうちに契約することになった。

契約書を読んでもとその携帯電話でe-mailの送受信ができるとのこと。

「うそ〜!こんな小さな機械で!」と半信半疑だったが、友達や李凡さんの協力を得て簡単にメールのやりとりができることを確認。

「こんな機械を作りだすなんて、人間ってなんてすごいんだろ〜。人間バンザイ。」と感動しつつ、電車の待ち時間や電車の中、寝る前に布団の中でメッセージを打ち込んで送るという、パソコンとはまた違ったインターネットの楽しみ方をしている今日この頃です。メールアドレスは0402896227.0@email.sky.kdp.ne.jpです。

多言語 Windows DTP

6월의 어느 날, 너무나도 마음에 든 휴대전화를 발견하고는 그날로 당장 계약해 버렸다.

계약서를 읽어 보았더니 이 휴대전화로 e-mail 송수신을 할 수 있다는 것이 아닌가. '설마! 이 작은 기계가 그런 능력이 있단 말야!' 하고 반신반의했지만, 친구들과 李凡씨의 도움으로 간단히 mail을 주고받을 수 있다는 사실을 확인할 수 있었다.

タイ語でフレイク・タイム



タイの文字って、ご存じですか?

そう、あのまるまるとして、なんともかわいらしげな感じがする文字です。

「文字は動物みたいでかわいいけれど、これってホントに読めるようになるの?」

なんて思っている人もいるかも知れませんが、実はタイ語、文字だけでなく、まるで歌を聴いているかのような柔らかな音に特徴があるのです。

そこで、今回はタイの早口言葉で少しでもタイ語を楽しんでもらいたいと思います。

肩の力を抜いて優雅に発音してみましょう。

つづけて3回、できるだけはやく発音してくださいね。まずは、お口慣らしにどうぞ!

ระนอง ระยอง ยะลา

(ラノーン ラヨーン、ヤラー)

タイにある県名です。

軽くクリアされてちよつといい感じになった方は、つづけてトライしてください。

ยักษ์ใหญ่ไล่ยักษ์เล็ก

(ヤックヤイライヤックレック)

大きい鬼が小さい鬼を追っかけた。

ちよつと舌がもつれだした方もつづけてトライ!

ขามเขียวคว่ำเข้า ขามขาวคว่ำค้ำ

(チャームキャオクワムチャーオ チャームカーウクワムカム)

‘이런 기계를 만들어내다니, 인간들은 정말 굉장해. 인간만세!’ 감동적이다.

요즈음은 전차를 기다리는 시간이나 전차 안에서 나잠자기 전 이부자리의 안에서까지 메세지 입력에 열중하고 있다.

퍼스널 컴퓨터라는 또 다른 인터넷 즐기는 방법을 만끽하고 있는 나날들이다.

(翻訳:黄文宣)

みどりのどんぶりは朝ふせて、白いどんぶりは夜ふせる

なにやら口の中がエキゾチックな感じがして来た。またまたトライ!

ทหารถือปืนแบกปูนไปโบกตึก

(タハントウープーンベエクブンパイボックトウク)

銃をさげた兵隊がセメントかっいでかべをぬりに行く。

どうでしたか?リズムカルで心が弾むような感じがしてきましたか?

自分の命よりも大切なもの

マック部 郝晓雯

1985年3月29日、私は自分の命よりも大切なものを授かった。

今となっては心配もよくかけるが、無事、りっぱに中学2年生を迎える事ができた。私は希望と期待をこの子に託している。

私の娘は、はっきり言うともまず明るい、次に心が広い、そしてその笑顔から自信をくれる。ついでに人に好かれやすい。

むろん長所ばかりとは言えない。心配かけたり、言う事を聞かなかったり、口ごたえしたり、好奇心の為ステレオの中身をいじくったりして、ため息が尽きず頭痛になることも度々ある。そんな時、頭にきて怒る事もないわけではない。しかし、その後うんだ目で謝りにきたその姿を見ると、思わず今までおこった事を水に流してしまう。

娘にはピアノと言う強い仲間がいる。毎日、仕事から帰ってくると私の好きな曲を弾いてくれる。横に座って聞いていると、一日の疲れがいつ頃に消えてなくなってしまう。今まで、あった事をときどき思い出すと、まるで、昨日起こったような感じがする。

制作メモ

ページメーカーで組版した。ただ、いつもと違うのは一部ウインドウズで作成したこと。そう、この見開きのページがそうだ。

ウインドウズで作成したページではTrueタイプフォントを使った。Trueタイプフォントはフォントの数が多い。それらフォントすべてを使うマシンに入ると容量が多すぎて具合が悪い。そこで、良く使うフォントだけをインストールして、あまり使わないフォントはサーバーに入れておく。しかし、気をつけなければならないことがある。それは、サーバーとのネットワークがしっかり繋がっていないとダメ。もし、一瞬でも外れるとエラーが起こる。

出力はラックスセッター5600で面付けして出力した。そう、ウインドウズで作成したものと、マックで作成したものを一緒に面付けしたのだ。写真データはほとんどソニーのデジタルビデオDCR-PC10で撮影されたもの。最近では出かけるとき、このソニーのデジタルビデオを持っていく。

テープ1本で60分から、90分の録画が出来る。カット写真はの中から適当に選べればいい。しかも、動く画像と音声と同時に録画されるから後の記録にも非常によろしい。(高仁鳳)

我的女儿——小晨

1985年3月29日、我迎来了比自己生命更为珍视的女儿。

迄今，让我操了不少心的女儿，已是一名堂堂的中学二年级学生了。我对她寄予了无限的希望和期待。

直言不讳，女儿具有不少长处，第一性格开朗，第二心胸宽敞，第三她的笑脸经常赋与我信心，总之，是一个讨人喜爱的小姑娘。

当然，她也经常让我牵肠挂肚，提心吊胆的，对她进行正面教育时，有时还要强词夺理，为了满足自己的好奇心，甚至竟拆卸家中的音响……，每当发生让我怒火冲冠的事情之后，她会含着泪水虔诚地向我认错求饶，顿时使我的怒气烟消云散。

女儿非常喜欢弹钢琴，每天我工作完毕回到家，她总是弹一首我最喜欢的曲子以示慰问，每当我静坐聆听时，一天的疲劳随着悦耳的琴声消失而净。

每每回忆起女儿从小到大的点点滴滴，就仿佛似在昨天发生的那样记忆犹新。



このページはウインドウズで制作いたしました。

よろしくおねがいします。新入社員です。

マック部 稲木隆文

早いものでKBSに入ってからもう3カ月が過ぎようとしています

3月にスキー場のバイトの方から帰ってきてから3カ月それまで何もしていなかった私にしてみれば、この2カ月はあっという間でした。その間に覚える事がたくさんあり、もともと物覚えの良い方で無い私は1回聞いたことをもう1度聞いたりして皆さんに迷惑ばかりかけてしまいました。いまでも皆さんに聞いてばかりですけども、これからもいっぱい聞くとお思います。その時は怒らずにお願ひします。

そのかわりスキー・スノーボード・料理のことは



何でも聞いてください。大抵の疑問には答えられると思います。

まだまだひよっこですが一生懸命がんばりますので、これからよろしくお願ひします。

マック部 太田晶子

6月から新しく入った太田です。下の名前はショウウコと読みます。

KBSに来てから一日、一週間がとても速く感じます。これは年を重ねる度に思うことで、毎年その速さは速くなっている気がします。

小学校の頃などは一日、一週間が果てしなく続きそうなおものでした。

幼い頃の夢は皆かわいおもので、普通は保母さん、スチュワーデスなど、何かしら夢を持っているのに私は「将来はその時が来ないと解らない」と夢のかけらも無いことを卒業文集に書いた記憶があります。今思えば相当可愛くない小学生だった気がしないでも無いのですが、逆にそれが自分らしいなともお思います。

根っからの音楽好きで、学生の頃から友人達とレコードレーベルを発売させようとお大きな夢を追っ



かけていたことも有りました。実際行動に踏み切った!先したのですが、私の筆無精のおかげで動きは一時停止したままです。そろそろ再起させようかという話もありつつ、あとは行動力とやる気のみといったところでおです。

小学生の頃にボヤいていた「将来なりたい職業」が無かった私が、あるきっかけを通して今の職種を知ったのはつい半年前の話です。KBSでやりたいことが出来て、また様々な事にチャレンジしていける環境がある中で自分なりに毎日を楽しんでいます。物覚えの悪い私ですが、これからもご指導のほど宜しくお願ひします。

朝の散歩

最近、私は朝6時前に起きて、散歩をするようにしている。

実は2年ほど前から、医者から運動不足だから体重を減らすようにお言われたのである。それまでは、医者知らずで、風邪などひいても病院などいかなかった。

それに、移動はいつでも車、会社内では机に座りっぱなし。だから、運動不足になるのは当たり前だ。

散歩の場所は大阪城のまわりだ。大阪城までは自転車で行き、6時30分から始まるラジオ体操に参加する。このラジオ体操が始まる前は待つまでに、コーラスをする人や、盆踊りをする人などがいる。私は踊りには参加できないが、コーラスにはむかし、学生時代を思い出しながらたまに参加する。

体操を終え、大阪城の周りを歩く。どのくらいかははっきりわからないが、けっこう広いので、毎日同じコースを歩かない。その日の気の向くままに、コースを変えて歩くのだ。



体操の時間がくるまでコーラスを歌う

森之宮駅側の噴水に着くのが7時半ごろだ。もし、どなたか朝大阪城に散歩に来られる方がいたら、この7時半ごろ噴水のあたりに来たら私とお会えるかも。

万歩計を見るとだいたいこの朝の散歩で6000から7000歩位になる。

朝食もとることにした。以前は朝飯抜きであった。3食、飯を食ったほうがいいらしい。朝食は麦飯に納豆をかけて食べる。昼もできるだけ日本食をとるように心がける。しかし、どうしてもビールを飲むのが困ったものだ。このビールを減らさなければならぬ。できれば飲まないようにしたいのだが、それがなかなかできないのだ。

自転車にのる

車はできるだけ乗らない。毎日自転車に乗って移動しているのだ。乗ってみてわかった。便利である。しかも、はやい。駐車場の心配もいらない。それに、周りを見ることが出来る。今まで、車に乗っていたとき気づかなかったことに気づくことが多い。そして、ちょっと立ち止まって見ることが出来る。

遠いところには電車などの乗り物を利用する。



盆踊りを踊る人達もいる



いっぱい、スポーツドリンクを

今まで、あまり電車に乗らなかったが、乗ってみるとこれまたいい。電車のつり広告がけっこうおもしろい。今使われている書体はどんなかなあとか、よくわかる。あの写研書体をあまり見かけない。これはマックなどのデジタル編集で印刷物を作っているせいだろう。

おかげで、体重が減ったようだ。しかし、なかなかこのおなかがへっこまない。それでも、体の調子はいいい。自転車で走り回ってもそんなに疲れを感じない。それだけ、体が順応されるようになったのだろう。朝の散歩、体が動ける間続けるつもりだ。そう、雨が降ろうと、嵐が吹こうと。(高仁鳳)



ラジオ体操だ。たったの10分だが、

小学校の運動会なのに、大人が参加するマラソンの種目もありました。

私のいとこのオッパ(兄)は、村のランナーのひとりとして走っていました。うちの村が優勝してからはその優勝旗を守るのだと言い、オッパは日本で住み出した後も、運動会のシーズンになると帰って来ました。そして朝、村のたんぼのあぜみちをジョギングしていました。

オッパは村の中で何かと話題をまく人でした。ある日、村の子どもや娘たちを自分の家のマダンに集めました。マダンの真中に、むしるをかけた物がありました。オッパはなるべくその物のそばに近寄るよつに言いました。私たちの好奇の目がその物体にすいよせられます。それが何であるかはオッパ以外はだれも知りません。オッパはおもむろに、むしるを取りのぞきました。黒い物があらわれましました。いくら見ても私にはわかりません。

オッパはいたすらつばい目つきで、私たちの顔をチラッ、チラッ、と見回しながら、くるつ、くるつ、とハンドルをまわしはじめました。

私は一番前に陣取り何が起きても、見逃すまいと目を最大限に見開いて息をこらしてかまえていました。

しばらく、しんとした時がながれました。

動いているのはハンドルを回しているオッパと、風ばかりでした。

「ボンッ」。突然の破裂音。

「キヤーツ」と、私たちの悲鳴。

「アハハハ」と、オッパの高い笑い声。

われにかえった、私たちも顔を見合せて笑いに笑いました。笑い声はしばらく続きました。

オッパはボン菓子(菓子)の機械を初めて村へ持ち込んで、実演して、私たちを驚かせたのです。祖母は笑い過ぎて出た涙を拭きながら、その機械を持ち込んだ孫を笑いをこらえながら叱りまし

マダンの鬼(5話)

翻訳・データ部 朴 禮 和
(パク・エイファ)

た。オッパも笑いをこらえながらあやまっていた。ほのかにあまりボン菓子を大人も子どもも笑いながら、できたての温かいボン菓子を口いっぱいにはづりました。

いつものようにひとりてたんぼのあぜみちで遊んでいると、中折れ帽子に背広姿の色の白いアジョツシ(おじさん)が、バス停の方から歩いて来ました。あぜみちは狭いのです。私はたんぼの中へ入って道をあけました。このあたりでは見たことのない別世界の人のよつでした。アジョツシはチラッと私の顔を見て、ちよつと立ち止まりかけたけれど、何も言わずに通り過ぎました。

夕方、家に帰ると、あのあぜみちですれちがったアジョツシが家の中に!

私は父を忘れていました。父は私たちを迎えに帰国したのでした。

日本へ行くことがわかった時から、姉は日本へ行きたくないと言って毎日泣いていました。私は早くバスに乗りたいたいと思いました。姉の悲しみが深くなるのは反対に私はうれしくて、胸がわくわくしました。それまで私はバスに乗ったことがありませんでした。

村の入口に止まるバスを時折見るのができました。家が少し高台に位置していたことと、たんぼばかりで途中をさえぎる高い物が何もなかったため、家からかなり離れていたバス停でしたが、バスが走り去った後に、土煙がまいあがり、まい上がった土煙は、バスを追いかけるように揺れながらしばらく空に漂っているのを見ました。

父が家にいると母はここにこしているし、私はもう留守番をしなくてもいいし、ただうれしくて。家中うきうきした雰囲気なのに、姉だけ

は泣いてばかりいました。私はその気持ちがわかりませんでした。

のちに姉から、あのときは友だちと別れるのが本当に辛かったと聞き初めてかわいそうに思いました。私は幼なすぎて人との別れのつらさを知りませんでした。私は早くバスに乗りたいたいばかりでしたから。

いよいよ日本へ出発する日になりました。バスに乗り汽車の駅まで来ました。汽車に乗る前に写真屋で写真を撮りました。見送りに来た親戚や村の人たちと一緒に撮りました。

泣きました。汽車は真っ黒で、大きいし、煙はもうもうと出ているし、いきなり大きな汽笛を鳴らして私を飛び上がらせるし、バスのつらさを思い出し、死ぬかと思いました。

父は黙って私をかかえて(必死で抵抗したが(さ)っさと汽車に乗り込んでしまいました。)

(この時以来、父が亡くなるまで父に対する畏敬の念は消えませんでした。)

ところが、汽車はバスより快適でした。匂い



がなかったし、窓から外を見ると、ボンボンとある村の家々や、木々などが目の前を走り去るよつでした。

姉は汽車に乗ってからも、ずっと泣いていました。見送りの人たちがだんだん小さくなると、母も泣き始めました。

この時が、母と祖母の最後の別れになりました。父はおそらくすぐには帰国できないと思い、祖母の白装束を作り、母の姉に託して日本へ渡りました。幼いときに両親を亡くした父は祖母を実の母のように慕っていました。

丸い船窓から見える海原
父が私を抱き上げて、船の丸い窓から外を見せてくれました。船の中とは全く違う世界が広がっていました。見えるのは、ただ水と空があるばかりです。でも、目をこらすと、ずーっと向うに汽車が見えました。まるで水の上を走っているように見えました。

緑がかつた深い藍色の海面から白い波がしらがむくむくともりあがりながら私の方へ向かってくるよう恐ろしくなりました。

私はこの時、初めて海を見たのです。広い海と波のうねりを見るまで、自分が船に乗っていることさえ知りませんでした。船の中が日本だと思っていました。

(このページは毎日新聞書体を使用しました。)

泣きました。汽車は真っ黒で、大きいし、煙はもうもうと出ているし、いきなり大きな汽笛を鳴らして私を飛び上がらせるし、バスのつらさを思い出し、死ぬかと思いました。

父は黙って私をかかえて(必死で抵抗したが(さ)っさと汽車に乗り込んでしまいました。)

(この時以来、父が亡くなるまで父に対する畏敬の念は消えませんでした。)

ところが、汽車はバスより快適でした。匂い

KBSのホームページがリニューアルしました!!

アレアハングル、INFO ASIAなど新情報が盛りだくさん



今年の初めから社内を進められていた新しいホームページの作成が何とか一段落し、7月1日にどりあえずリニューアルオープンいたしました。新ホームページは従来のホームページにあった会社概要や、日韓機械翻訳、多言語PDFのページはもちろん、今年から販売をはじめたアレアハングル日本版のページ、ご要望の多かった書体見本や翻訳料金表、アジア情報満載のページ「INFO

ASIA」など、大幅にパワーアップ!!
 まだ未完成のページもありますが、これからどんどん充実化を図ってまいりますのでお暇と

アレアハングル日本版のLittle Tips

ハングル辞書をひくときはF12キーをポン!!

アレアハングル日本版に韓国語、英韓、韓英辞書がついているのは実際購入した方ならご存知ですよね? でも、この辞書ツールがWindowsを起動したときから常駐化していることを知っている人は少ないようです。

どういふことかって?

皆さんこの辞書を引くときどうしてますか?

え? アレアハングルを起動してから辞書コマンドを使ってる?

いえいえ、そんな必要はありません。この辞書ツールは常駐しているの、ファンクションキー(F12)をポン!と押すだけでいつでもどこでも即時に起動します。

メモ帳やブラウザなどで英単語を選択してからF12キーを押すと、すぐにその意味がハングルで出てくるんです!

さあ、これから皆さんもこの超便利な辞書ツールをどんどん活用しましょう!!



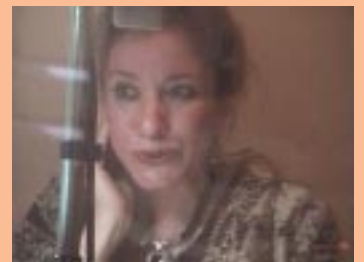
撮影所の入り口



打ち合わせ



さあー収録を始めよう



ビデオナレーションの収録



画面

5月25日、京都松竹映画撮影所で、「飛鳥古京の旅」という奈良明日香のことを海外に紹介するビデオの収録を行った。今回は英語だ。

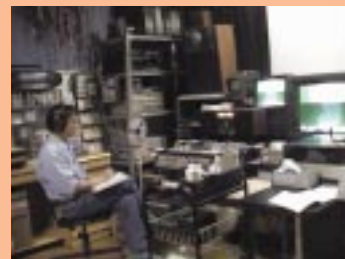
ナレーターはKathy Sokolさん。いい感じに収録できた。



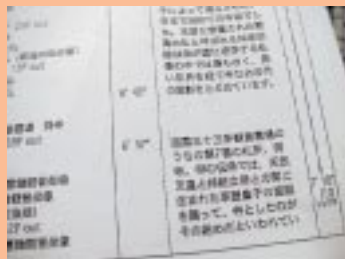
ナレーションをするKathy Sokolさん



機器をチェック



音の収録状態を監視?



台本



撮影所中のセット